公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ヴェーデリアン渡鹿			公表日	年月日		利用児童数	29	回収数	21
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見		ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	4	・子どもの活動内容に合わせたスペースを確保してあると思います。 ・運動ができる場所も確保してあるのではありませんか。	・環境調整、整備に努めています。 ・活動内容に応じて場所決めも行っていきます。 活動内容によっては事業所以外の場所を使用することもあります。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21		・専門的な資格を持っていらっしゃる先生方が多い。 ・いつも手厚く支援していただいている。	・専門的な資格や知識を有した職員、職員数を配置し対応しています。 ・常に寄り添いを大切にしています				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思	16	5	・建物の構造上、難しい部分があるとは思いますが、その中で、できる限りの安全性を確保されていると思います。	・改善が必要な際にはその都度、迅速な対応を心がけています。 ・安全性を確保できるようにできる限りバリアフリー化できるように努めています。				
適切な支援の提供	4	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21		・こどもたちのことをしっかりと理解してくださっているのがわかります。 ・私たちの意見もしっかりと汲み取ってくださっている。	・定期的なモニタリングやお会いした時に保護者の方のお話をさせていただき、ニーズやご家庭の様子をお聞きし、日々の活動での様子を見ながら計画を作成しています。				
	5	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21		・いろいろな活動をされていると思う。 ・体験学習（活動）があるのはとても	・活動内容がより充実したものになるようスタッフで話し合いを重ねながら活動プログラムを計画し、実施につなげ、療育を提供できるように努めています。				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	6	・周りとの関わりを持つ機会があっても予定が合わずに参加できないことがある。 ・機会があっても本人がなかなか行きたがらないこともあります。	・不定期ではありますが、地域社会との交流が図れるような機会を設けています。 ・利用者様のお気持ちに寄り添いながら環境設定を行いたいと思います。				
保護者への説明等	7	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21		・契約時に説明を受けました。 ・変更があったときもその都度説明をいただいています。	・契約時に説明を行うようにしています。不明な点や疑問点などあった際にはいつでもお申し付けください。再度ご説明させていただきます。				
	8	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21		・いつも情報提供していただいています。 ・情報の共有ができていると思いま	・常に情報共有し、共通理解が図れるように努めています。今後も継続して行っていきます。				
	9	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		・いつも助言をいただいているので助かります。 ・面談以外でも助言していただくのでありがたいです。	・面談は定期的に行ってまいります。 ・面談以外でも常に保護者様とのコミュニケーションを大切にしていま				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	・保護者への支援もしてくださっている。きょうだいに對しても寄り添っていただいているのでありがたいです。 ・なかなか予定が合わず参加できず ・いつでも対応してくださるので助かっています。	・保護者様やご家族の皆様が参加できるような日程調整に努めたいと思います。 ・ご家族への支援、きょうだい児支援など今後も行ってまいります。				
	11	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21		・いつでも対応してくださるので助かっています。 ・些細な事でも気にかけて対応してください。こどもだけでなく親の声も大事にされる。	・いつでも対応できるように体制を整えています。 ・ひとりひとり、ひとつひとつのお声を大切にしています。				
	12	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21		・いつでも連絡がとれるようにされているので対応も早い。そして安心できる。 ・報連相の体制がしっかりとしていると思う	・利用者様や保護者様からの連絡やご相談、お問い合わせなどには常に対応できるように努めています。				
	13	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21		・LINEやブログにて様子がわかります。 ・アンケート結果もホームページを見ました。	・ご利用の様子については個別にご報告させていただきます。個別的な活動報告とは別にブログでは全体の様子を報告しております。 ・アンケート結果についてはホームページに掲載しております。				
	14	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21		・しっかりとされていると思います。	・個人情報の取扱いに関しては厳重に行います。				
非常時等の対応	15	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されて	21		・感染症に対するお知らせプリントなど配布される。 ・緊急時やその他の場面で必ず連絡をいただいている。	・事業所BCP及びその他のマニュアルを作成し事業を行っております。 ・マニュアル等に関しては事業所に閲覧できるように提示しております。				
	16	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21		・避難訓練を実施していただいたり、交通ルールやマナー、公の場に出た時のルールやマナーに関して学ぶ機会を設けていただいている。	・避難訓練は定期的に行っています。 ・万が一に備えた訓練や学習、体験				
満足度	17	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21		・いつも楽しみに通っています。 ・こどもが楽しみに通っているので親も安心しています。	・今後も安心して楽しく通っていただけるような活動計画、環境づくりを行ってまいります。				
	18	事業所の支援に満足していますか。	21		・とても満足しています。これからよろしくお願ひいたします。	・ご本人、ご家族にとつて安心して安全にご利用していただける事業所づくりをこれからも行っていきます				

公表 業所における自己評価結果

事業所名		ヴィーデリアン渡鹿		公表日			年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容によっては外で行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		ガイドラインに沿った職員配置をしている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用児童が分かるように構造化している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、清掃、必要時には消毒をしている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要時には個室でクールダウンを行っている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングする時間を設けている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意向があれば取り入れている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングする時間を設け、改善する点があれば見直している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	行っていない。 重要事項説明書に記載し、説明をしている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修を月に1回必ず開催している。			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングをした上で計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員が作成する際に必ず参加している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って支援し、記録を残している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントシートを使用し、確認している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って設定した上で作成している。			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員で立案し作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童に必要なプログラムや季節に応じたプログラムを設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要であれば個別活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動の担当や補助等、役割分担をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間で振り返りを行い、改善点があれば共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必ず記録を取り、必要時には検証・改善している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿って組み合わせて支援をしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		児童が選択できる機会を作っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童を理解している職員や管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時には会議を行い連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		下校時間の変更があれば電話で連絡をもらっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要時には会議を開催し、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○	該当児童がいないので必要時には情報提供をしていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		機会があれば研修を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園で交流したり、卒業生が遊びに来ることがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ブログに活動の様子を記載したり送迎時に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		希望があれば助言したり研修をお知らせしている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		利用児童と面談する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		作成する際には保護者の意向を聞き、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要時に面談をしたり、助言している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		年に1度保護者会を設け、きょうだい同士で交流できるようにしている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制を整備し迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		会報誌の配布やブログをあげている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員で留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		信頼関係を築いた上で絵カード等を使用し意思疎通をしている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民との交流を行っている。	事業所の行事に地域住民が参加する機会がないので検討する。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		全てマニュアルを策定し、訓練等を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練を行ったり、防災センターへ行くこともある。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者から聞き取りを行い、確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童は把握し保護者と確認をとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		外出する前は職員で確認し、支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		必要時には説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案があった場合、検討会議をしている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員研修を行い環境づくりをしている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		記載している。		